

■市川雷蔵 映画俳優。量産される大衆娯楽映画の“最後のスター”として絶大な人気を得ながら、癌で夭折した。

いちかわらいぞう

満州事変・・・1931＝ 京都市中京区で、亀崎松太郎・富久の子に生まれ、
五一五事件・1932＝ 1歳：歌舞伎俳優市川九団次(竹内嘉三)の養子となって、竹内嘉男を名のる。

日中戦争始・1937＝ 6歳：
健保+総動員 1938＝ 7歳：大阪市立桃ヶ丘小学校に入学、

大政翼賛会・1940＝ 9歳：
日米開戦・・・1941＝10歳：

年金+総武装 1944＝13歳：卒業して、大阪府立天王寺中学に入学するも、
敗戦・・・1945＝14歳：
新憲法公布・1946＝15歳：中退し、_市川菫蔵の名で歌舞伎の初舞台を踏む。

三大事件・・・1949＝18歳：関西若手俳優による勉強会{つくし会}結成し、大阪文楽座での武智歌舞伎旗揚げにも参加。

独立回復・・・1951＝20歳：関西歌舞伎の長老市川寿海の養子となり、大田吉也と改名し、_8世市川雷蔵を襲名した。

自衛隊発足・1954＝23歳：*大映と契約し、勝新太郎とともに「花の白虎隊」でデビューし、以後、映画のスターとなる。
55年体制始・1955＝24歳：養父九団次が死去。_溝口健二監督に抜擢された出世作「新平家物語」のりりしい若武者以降、

なべ底不況・1957＝26歳：「朱雀門」が東南アジア映画祭ゴールデン・ハーベスト賞。正式な後援会が発足し、会誌も発刊される。
インスタントメン・1958＝27歳：初の現代劇で三島由紀夫の小説「金閣寺」の映画化「炎上」に続き、
美智子妃・・・1959＝28歳：*「濡れ髪三度笠」などの明朝時代劇のヒーローとして人気を得た。キネマ旬報主演男優賞、ブルーリボン主演男優賞、NHK映画最優秀男優賞、ベニス国際映画祭チネマ・ヌボウ男優演技賞。

安保闘争・・・1960＝29歳：ハワイ国際劇場に出演。市川崑監督の「ぼんち」でも浪花男の飄逸さを好演。

タイタイ病始・1961＝30歳：養母寿海夫人が死去。

全国総合計画1962＝31歳：永田雅一大映社長の養女と結婚。

TV宇宙中継始1963＝32歳：長女が誕生。*以降の最後の7年間には「忍びの者」シリーズ8本、「眠狂四郎」シリーズ12本をはじめ「陸軍中野学校」5本、任侠劇「若親分」8本と、4シリーズで大活躍。量産される大衆娯楽映画、いわゆるプログラム・ピクチャーの最後のスターといえる。

東京リンパ 1964＝33歳：長男が誕生。

大学紛争始・1965＝34歳：後援会誌廃刊となる。

美濃部都知事1967＝36歳：_「華岡青洲の妻」で、NHK映画最優秀男優賞、キネマ旬報主演男優賞、

霞ヶ関ビル・1968＝37歳：*劇団{テアトロ鐘矢}結成発表。次女が誕生。念願だった村上元三原作、池広一夫監督の股旅物「ひとり狼」で、流れ者の断念をみごとに演じ、スターとしての絶頂の姿を示した。出演中に下血して入院し、

全共闘ビーク・1969＝38歳：_直腸癌で、没した。
映画生活15年間に153本の作品に出演。